

## 国際開発政策の

## 「けん引役」決議

民進・藤田氏

民進党の藤田幸久氏（参院茨城）は20日、参院政府開発援助（ODA）特別委員会で、与野党4会派を代表して主要国首脳会議（伊勢志摩サミット）などに向けた国内外の開発政策に関する決議を提案した。

藤田氏は、同サミットや8月の第6回アフリカ開発会議などで、日本の国際開発政策の真価が問われると指摘。貧困や格差の解消、テロ対応、飢餓の削減など計13の課題について「日本がけん引役として、グローバルな役割を積極的に果たすべきだ」と主張した。

決議案は全会一致で可決された。岸田文雄外相は「趣旨を踏まえ、ODAを通してG7などの国際会議でリーダーシップを発揮するよう取り組む」と述べた。